



## 学びと誇りが実感できるまち

～タブレットの活用が  
できるようになります！～

令和元年12月号

庄原市教育委員会  
教育長 牧原 明人

しんしんと寒さがたのしみゆく (星野立子)

庄原の子供たちが活躍している様子を紹介します。

まず、科学研究のことです。本年度も広島県科学賞審査において、口北小学校第2学年7名の共同研究が「準特選」に選ばれました。研究テーマは「サワガニのうんどう会」で、サワガニの動きをよく観察したものです。今後、研究内容が広島県立教育センターのホームページに載る予定です。

次に、先月実施した中学校合唱コンクールのことです。本年度で5回目を迎えました。審査員・保護者・市民の皆さんから「各学校とも心をひとつにした美しいハーモニーが生まれている」「質の高い合唱になっている」「これからもずっと続けてほしい」などの声をいただいています。

もうひとつ。先月行われた庄原実業高等学校の学園祭のことです。生徒たちが日頃より精魂込めてつくった作物や手作り食品の販売、研究を重ねてきた製品の展示やレポートの掲示など、農業専門高校の特色が発揮され、多くの人でにぎわいました。なかでも、GAP認証農産物の梨（新高）や全国農業高校お米甲子園で金賞を受賞したお米（あきさかり）は大好評でした。これからも庄原の特産物となる作物に磨きをかけ、その開発と発展を期待しています。

さて、今回は、学校でタブレットの活用ができるようになったことです。

12月から、すべての小中学校で、タブレットを使った授業や活動ができるように、情報教育環境が整いました。パソコン教室以外の普通教室などでも活用が可能となります。

次の表は、昨年度、研究指定校（庄原中）で「電子黒板(D)・タブレット(T)」を使って授業・学習を行った後のアンケート調査結果の一部です。 (%)

アンケート調査の項目	第1学年	第2学年	第3学年
DやTを使った学習は楽しい	91.7	86.1	92.4
DやTを使った方が、進んで授業に参加できる	84.3	85.2	91.6
DやTを使った方が、集中して取り組むことができる	74.0	79.5	84.8
DやTを使った方が、自分の考えや意見を、わかりやすく伝えることができる	89.5	78.5	90.1

◎ タブレットを活用することで...

「児童生徒の考えを電子黒板等に集約し、それを瞬時に拡大して全体で共有することができる」「場合によっては他の考えと比較したり、書き込みをしながら説明したりすることができる」など、効率的な授業展開を行うことができます。